

特集 ■ 法然上人八百年御忌、浄蓮寺開創八百年

念仏すけささぬ人(七)

— 角張成阿のこと —

高橋 富雄

法然遠流記 詩と真実

六つの道めぐる因果の糸車

父母生々の恩を織りつつ

『正源明義抄』巻第七の第五物語

「鬼神参事」や、巻第八の第八物語

「成阿父の蛇(くちなわ。蛇)の事」

などは、軽く「秘伝遠流記」流の上

人神変法力物語類話扱いをされ、ま

ともな法然伝記の中に仲間入りする

ことはありません。

しかし「虚構の真実」ということ

もあるのです。詩人ゲーテは、その

生涯記を「詩と真実」(「デイヒトゥ

ング・ウント・ワールハイト」とい

う題名で美しく自伝化しています。

ドイツ語デイヒトゥングは英語では

フィクションです。わたくしはこの

融通無礙のことにあやかっ、事

実としてはフィクションであつても

このころとしては真実であるところの

「詩の真実物語」を「法然遠流記」

より拾い出し、「二河白道」ならぬ

「二鬼白道」の感動物語にみなさん

をお誘いし、「フィクションより奇な

る真実」でなしに、「フィクションな

負うた子に教わつて、法然は脱帽し
たのです。

「無三悪趣現証物語」です。

そうなのです。四十八願は、その

第一の首願を「無三悪趣の願」を以

て始めているのです。「設我得仏 国

有地獄餓鬼畜生者 不取正覚」。

「はじめに無三悪趣の願があつた」。

これは、第十八願をもここに始める

ところの「最先の願」です。念仏の

教祖さえ襟を正してその前に最敬礼

せしめる至高の孝道が表明されてい

るのでから、これは第十八願の「至

心信楽 欲生我国 乃至十念」に優

るとも劣らぬ至誠・深心の廻向発願

心と言えるものなのです。

すなわち「王願アルパ(はじめ)」

です。第十八願は「王願オメガ(お

わり)」として、これを総括するもの

と考えてよいのです。「三悪道」は

「五逆十惡の最たるもの」です。「極

惡最下の人のために極善最上の法」

を説く王願はまずここでその真実を

自証しなければならぬのです。

この「無三悪趣の第一願」はその

姉妹願の第二願を「設我得仏 國中

人天 寿終之後 復更三惡道者 不

取正覚」と誓つて、いわゆる「不更

惡趣の願(更は帰)を起こすのです

が、「成阿父蛇の事」の「亡父政氏変

生蛇身念仏廻向往生物語」は、奇し

くも第一願至心孝道の大願を承けて、

その永生への救いを成就して、「復た
三惡道に更ることなき浄仏国土成
就」を予告することになります。

その蛇身往生物語はこうあります。

さて小蛇(承元三年)七月十五日

の念仏の最中、念仏聴聞すとおほ

へて、上人にむかひまいらせてう

ちのびて死に畢ぬ。上人のおほせ

には、小蛇往生したりと仰せける。

紫雲たなびきたりければ、人々不

思議のおもひをなしけり。

「因果はめぐる糸車」と言いまし

た。この蛇身往生物語は「因位の最

小最下の惡趣往生」のかたちを借り

て「果位の人天悉皆往生」をその「至

高至深のころ」に説くものでした。

「紫雲たなびく」はその現証です。

「設我得仏 國中人天 不悉真金

色者 不取正覚。四十八願の「悉皆

金色の第三願」は、こうして、まさ

にその「最下最小の往生の故に」、

「最高最終の果位悉皆真金色往生」

を保証するものになりました。そし

て「無三惡趣」「不更惡趣」「悉皆金色

の「因位三部王願(トリロジ)」詩

と真実成就」となったのです。

『三部経釈』に「無三惡趣も不更

惡趣も悉悉金色も、皆第十八願の為

とするのは、四十八願のオメガ(お

わり)からの要約です。アルパ(は

じめ)は、無三惡趣に始まるのです。

(東北大学名誉教授)